

## 御挨拶

日頃から、国際交流推進室の活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ここに、国際交流推進室ニュース16号をお届けいたします。信州の短い秋はあっという間に終わり、紅葉を愛でるか愛でないかのうちに、白い山肌が広がる季節になりました。上田の朝は格別寒く、布団から出づらいう一方、朝の外気の身が引き締まる感じが懐かしく思われる方も多いのではないのでしょうか。さて、2017年度前半にかけての本学部における国際交流関連の記事をご紹介します。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 学内行事

### [留学生研修旅行 2017年9月5日～6日]

今年も繊維学部の外国人留学生が、日本の文化と歴史に直接触れ、理解を深め、また留学生同士の親睦を深める目的で研修旅行に行きました。今年度は留学生17名、引率者3名が参加し、伊勢方面に一泊二日で行きました。一日目は伊勢神宮の内宮・外宮を参拝し、おかげ横丁を散策しました。

二日目は鳥羽港からフェリーに乗り愛知県に入り、真福寺を参拝し、その後トヨタ自動車会館を見学しました。トヨタ自動車会館では最先端の自動車技術に触れ、学生達も非常に興味深く見学していました。

バスでの移動時間が非常に長い旅行でしたが、日本の名所を訪れ、お互いに親交を深め、楽しい思い出になったようです。



伊勢神宮内宮にて

### [日中韓大学院シンポジウム]

2017年8月20日～24日にかけて、日中韓大学院シンポジウムが開催されました。本シンポジウムは日本、中国、韓国の繊維工学分野の大学院生を集めて、講演、ポスター発表、文化交流などを行うもので、学生が企画・運営する学生主体の学会です。毎年各国の持ち回りで開催しており、本年は信州大学繊維学部で、国際交流推進室が中心となり企画運営し、実施しました。

韓国のソウル大学、POSTECH、HANYANG 大学、忠南大学、慶北大学、INHA 大学、中国の蘇州大学、東華大学、江南大学、南通大学、パキスタンの国立繊維大学など4カ国11大学から学生69名、教員13名が参加し、教員の方々による特別講演の後、2日間にわたり学生の口頭発表およびポスター発表が行われました。

その後表彰式が行われ、優秀者として選ばれた発表者が表彰されました。また、参加者は最終日には文化体験として別所温泉を訪れ、繊維学部でのバーベキューパーティーに参加しました。

主催者・参加者の協力のもと、素晴らしいシンポジウムになりましたが、特に企画・運営の学生達の頑張りには目を見張るものがあり、シンポジウムの成功に大きく貢献していたと思います。



講堂前で記念撮影

## 訪問

### [中国浙江理工大学(さくらサイエンスプラン) 2017年7月20日～26日]

繊維学部が申請したプログラムが JST さくらサイエンスプランに採択され、中国浙江理工大学から10名(教員1名、学生9名)のみなさんが来訪されました。「さくらサイエンスプラン」は産学官の緊密な連携により、日本の実施機関がアジア地域の諸国・地域からの優秀な青少年を短期に招へいし、科学技術の分野で日本の青少年と交流することなどを進める交流事業を公募し、採択された交流計画を支援する事業です。

今回来訪された中国浙江理工大学のみなさんは1週間滞在し、その間繊維学部の見学を

はじめ、東御市の株式会社ミマキエンジニアリング、群馬県の富岡製市場を見学し、日本の科学技術にたくさん触れていただきました。また、松本キャンパスでは学長訪問なども行い、最終日には繊維学部の農場でバーベキューに参加し、先生方や学生達と楽しいひとときを過ごしていただきました。

## リベッツ工科大学 2017年9月22日～25日

学部間交流協定校であるリベッツ工科大学から Prof. Jiri Militky など5名が今後のさらなる国際交流を図るため繊維学部を訪問されました。下坂学部長と Prof. Jiri Militky より両学部の紹介があり、その後、リベッツ工科大学と関係の深い先生方や、同大学への留学に関心のある学生も交え、今後の交流についてディスカッションを行いました。また、翌月曜日には繊維学部のリーディング博士課程プログラムの学生との交流会および昼食会も開催しました。リベッツ工科大学には、これまで繊維学部から3名の学生が交換留学をしており、リベッツ工科大学からも、繊維学部へ5名の学生が交換留学しています(今回来訪した5名のうち2名がかつての繊維学部の交換留学生です)。研究者交流も活発に行われており、今後も両大学の交流が盛んになることが予想されます。

## トピタテ採用

2017年6月に、修士課程2年(先進繊維・感性工学分野)の佐藤里穂さんと、感性工学課程3年の伊藤鈴さんが、「トピタテ！留学 JAPAN」の第7期生に選ばれました。これで、繊維学部のトピタテ生は5名となりました。佐藤さんはアメリカの南オレゴン大学に2017年9月から10ヶ月間、伊藤さんはベルギーのカトリック大学ルーヴェンに2017年9月から10ヶ月間交換留学し、その後インターンシップに参加します。

## 留学生の声：李穎欣さん

2016年9月から信州大学に留学している修士課程感性工学ユニットの李穎欣(リ エイキン)です。この分野を勉強したいと思ったきっかけは、「もっと便利に生活できるように」という気持ちは込めて、製品を設計することにとっても関心があったからです。この一年間、感性工学分野の授業を受けたり、たくさんの交流活動に参加し、良い友達を作ったりして、とても有意義な一年間でした。日本に来て半年間は、繊維学部で日本語補講を受けました。

私は先生から日本語とともに日本文化についても学び、異文化交流に関心を持つようになりました。日本語補講の修了式の後は食事会を行い、各国の学生が手作りの美味しい料理をいただきながら、お互いに話し合うことができました。このようなイベントは友達を作る良いチャンスです。繊維学部では定期的に、交流イベントも行われています。大学では外国人との交流活動が熱心に行われているので、日本の文化を理解するために、身を持って体験したほうがいいと思います。私も交流活動に参加しました。大学の異文化交流に対する純真な熱意に私はとても感動しました。

## 繊維学部留学生の動向

2017年9月25日に秋季の学位授与式が開催されましたが、留学生には該当者がありませんでした。また10月には3名の博士課程学生、9月から10月にかけて12名の研究生が入学しました。これで、11月現在の繊維学部(修士課程、博士課程含む)の留学生の総数は76名となりました。

### 繊維学部への留学状況(課程と出身国)

博士課程	25	中国	41
修士課程	22	マレーシア	5
学部	14	韓国	3
研究生等	15	ベトナム	6
計	76	インドネシア	3
		パキスタン	4
		モンゴル	3
		フランス	2
		タイ	2
		ドイツ	1
		モロッコ	2
		台湾	1
		イラン	1
		ベルギー	1
		ポルトガル	1
		計	76

## 国際交流推進室 室員紹介

平林公男 (室長, 応用生物科学科)  
西川 敦 (副室長, バイオエンジニアリングコース)  
金 翼水 (副室長, 機能機械学コース)  
鮑 カ民 (機能機械学コース)  
ハニウツマケル (感性工学コース)  
平田雄一 (応用分子化学コース)  
金井博幸 (先進繊維工学コース)  
福長 博 (ファイバー材料工学コース)  
キャシーマクナミー (応用分子化学コース)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス (fkokusai@shinshu-u.ac.jp) へお寄せください。

◆ 国際交流推進室ホームページ ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>